

# 証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2016年度下半期の発行動向～

本調査は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2016年度下半期（2016年10月～2017年3月）発行分の結果を取り纏めたものです。

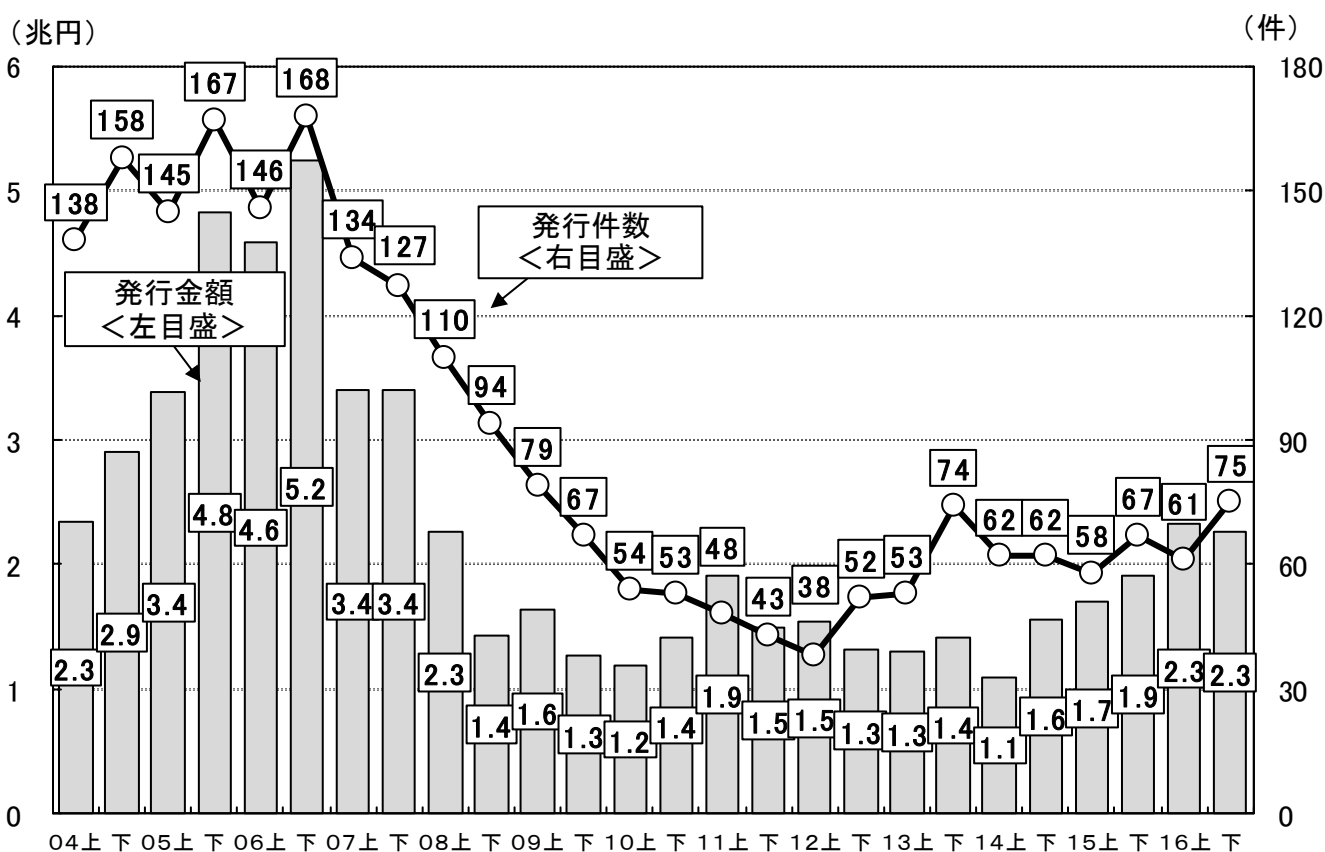
なお、図表において使用する数値データにつきましては、別紙をご参照ください。

## 1. 証券化商品全体の発行動向

2016年度下半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに前年同期を上回り（金額2兆2,595億円<前年同期比+18.1%>（※）、件数75件<同+11.9%>）、2016年度上半期に引き続き2兆円を超える発行金額となった（図表1）。

（※）2016年度下半期における普通社債の発行金額は4兆8,091億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・発行件数



## 2. 裏付資産別の発行動向

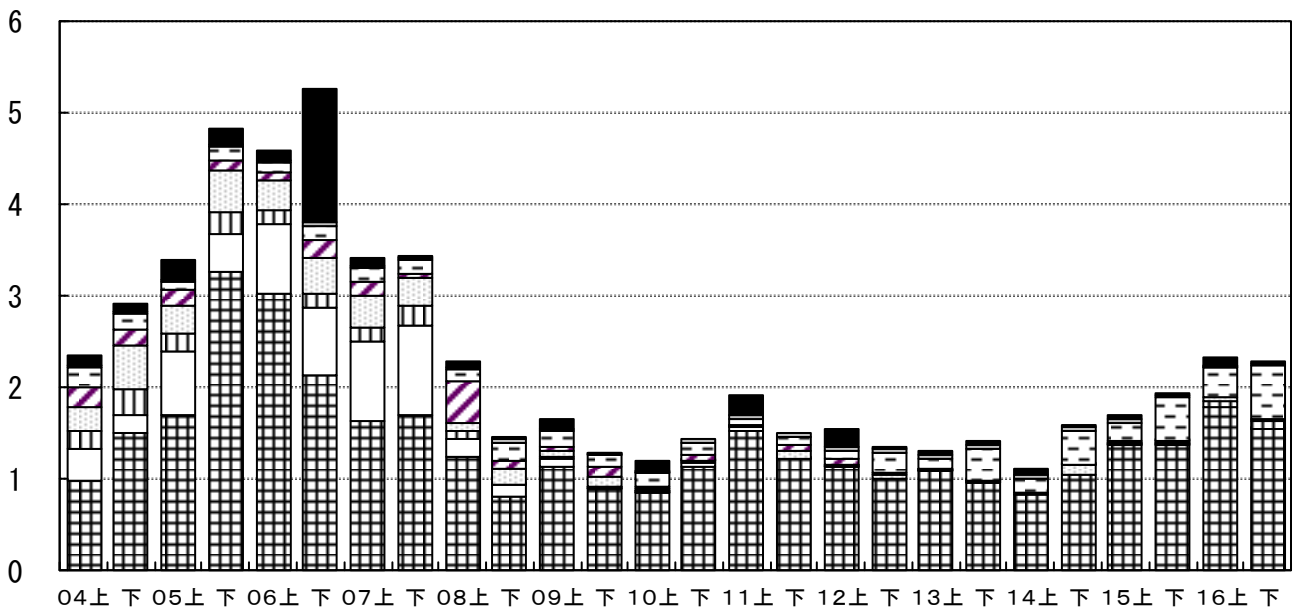
2016年度下半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「RMBS」、  
「CDO」、及び「ショッピング・クレジット」は、いずれも前年同期比で増加し、「CMBS」、  
「リース」、「消費者ローン」、「売掛金、商業手形」及び「その他」は減少した。なかでも、「RMBS」と「ショッピング・クレジット」は1,000億円を超える増加となった（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金、商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	15,423	4	859	0	80	5,942	274	13	22,595
前年同期比(億円)	1,809	▲6	591	▲168	▲10	1,355	▲99	▲3	3,470
前年同期比(%)	13.3	▲58.0	220.4	▲100.0	▲11.1	29.5	▲26.5	▲18.6	18.1
構成比(%)	68.3	0.0	3.8	0.0	0.4	26.3	1.2	0.1	100.0
発行件数(今期)	24	1	11	0	1	30	6	2	75
前年同期比(件数)	4	0	6	▲2	0	2	▲2	0	8
前年同期比(%)	20.0	0.0	120.0	▲100.0	0.0	7.1	▲25.0	0.0	11.9

注) 2016年度上半期の調査より、裏付資産分類を一部見直しております。詳細については別紙の「説明資料」をご覧ください。

(兆円)

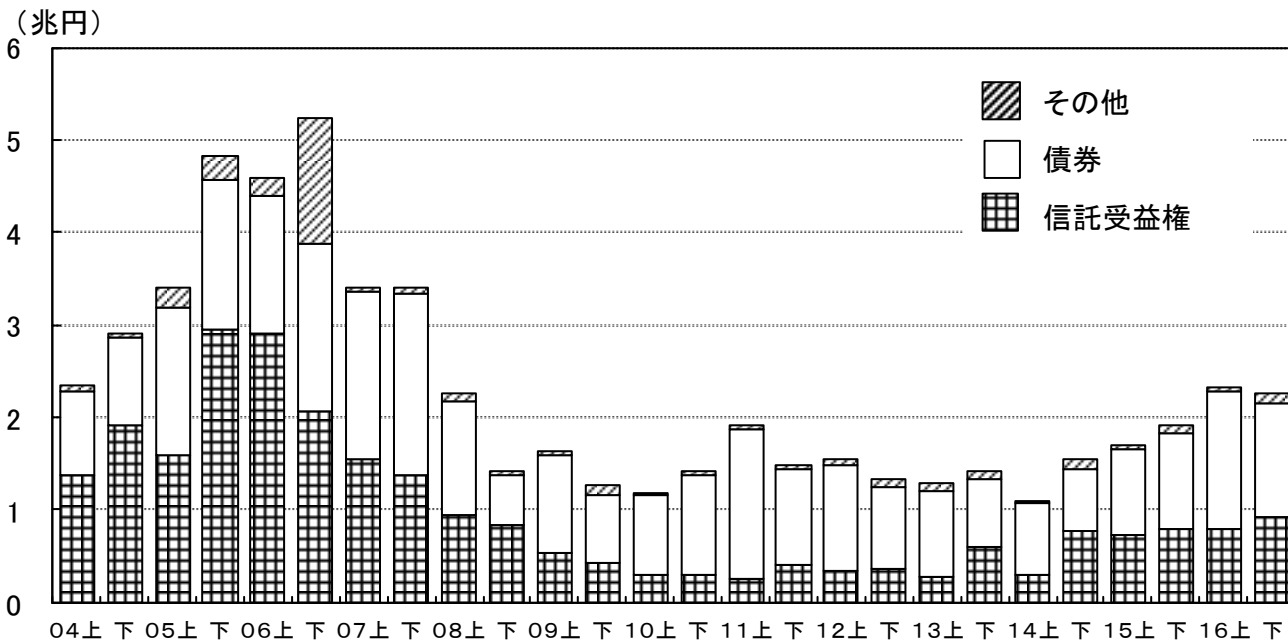


■ その他	基金債権、劣後ローン債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等
■ 売掛金、商業手形	売掛債権、手形債権
■ ショッピング・クレジット	ショッピングクレジット債権、クレジットカード債権、オートローン債権
■ 消費者ローン	消費者ローン債権、カードローン債権
■ リース	リース料債権
■ CDO	(Collateralized Debt Obligations) 企業向け貸付債権、社債、CDS等
■ CMBS	(Commercial Mortgage Backed Securities) 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
■ RMBS	(Residential Mortgage Backed Securities) 住宅ローン債権、アパートローン債権

### 3. 発行形式別の発行動向

2016年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆2,595億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆2,389億円（構成比54.8%）、「信託受益権」が9,235億円（同40.9%）であった（図表3）。

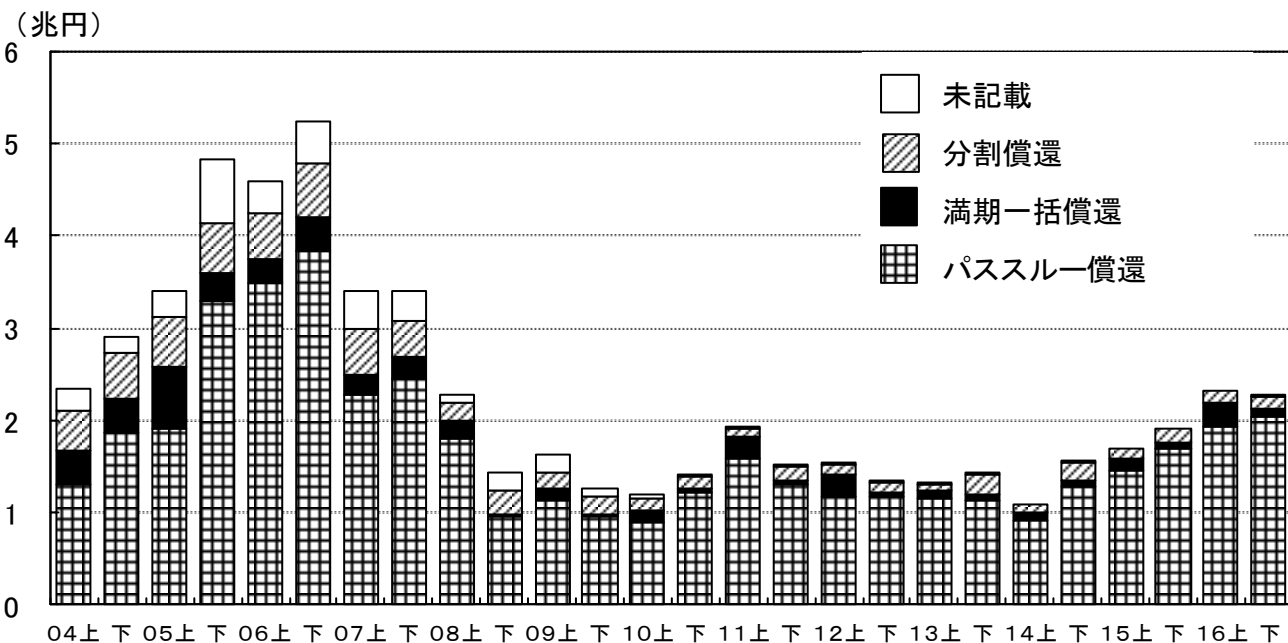
（図表3）証券化商品の「発行形式」別発行金額



### 4. 償還方法別の発行動向

2016年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆2,595億円）の「償還方法」別内訳をみると、「パススルー償還」が2兆400億円（構成比90.3%）と最も多かった（図表4）。

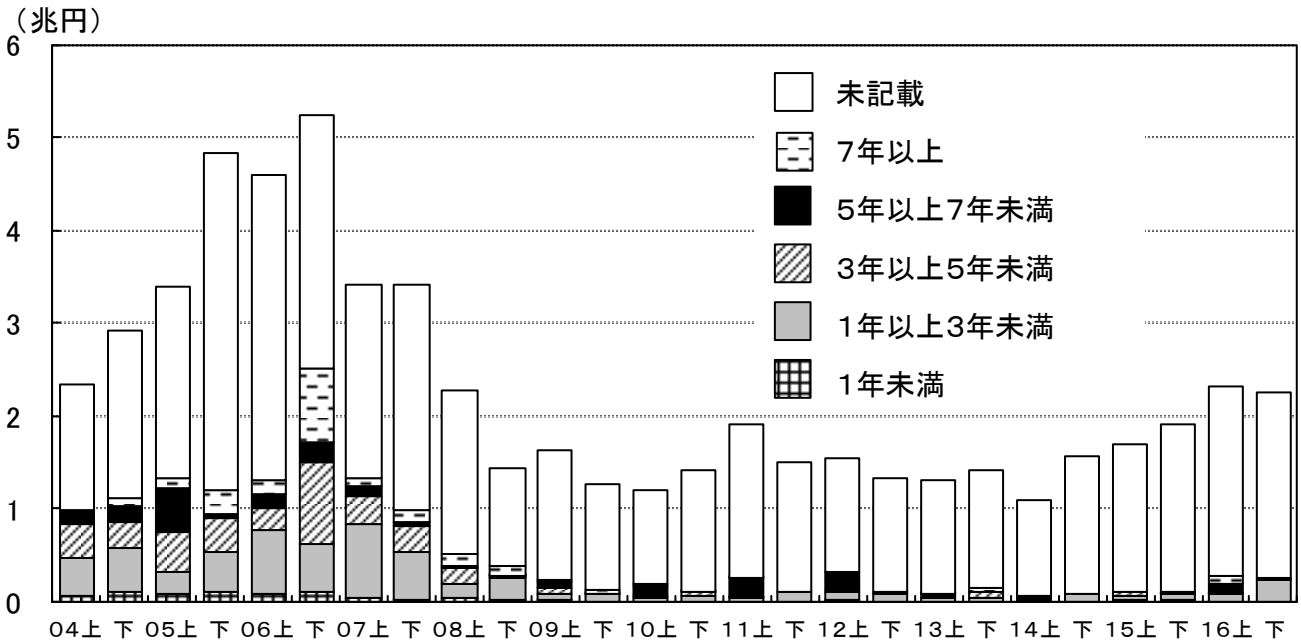
（図表4）証券化商品の「償還方法」別発行金額



## 5. 予定／平均年限別の発行動向

2016年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆2,595億円）の「予定／平均年限」別内訳をみると、記載のある中では、「1年以上3年未満」が2,261億円（構成比10.0%）と最も多かった（図表5）。

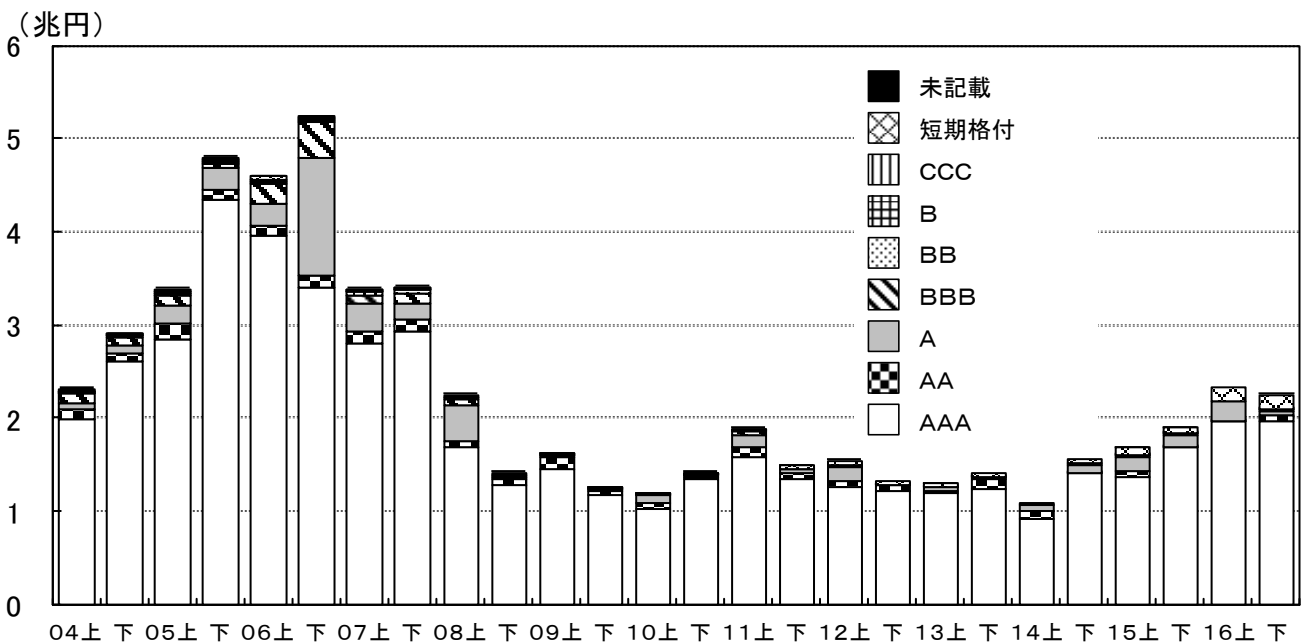
（図表5）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



## 6. 格付別の発行動向

2016年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆2,595億円）の「格付」別内訳をみると、「AAA」が1兆9,738億円（構成比87.4%）と最も多かった（図表6）。

（図表6）証券化商品の「格付」別発行金額

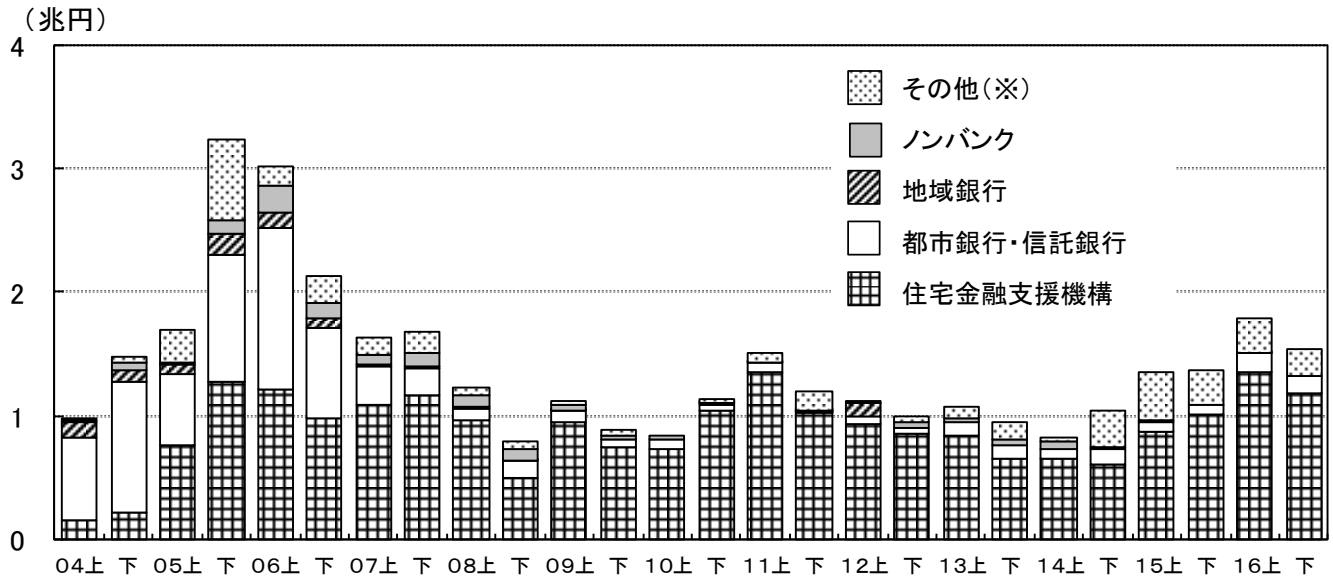


## <補足>

### ① RMBSのオリジネーター別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,423億円）の「オリジネーター」別内訳をみると、「住宅金融支援機構」が1兆1,778億円（構成比76.4%）と最も多く、次いで「その他」が2,207億円（同14.3%）、都市銀行・信託銀行が1,438億円（同9.3%）であった（図表7）。

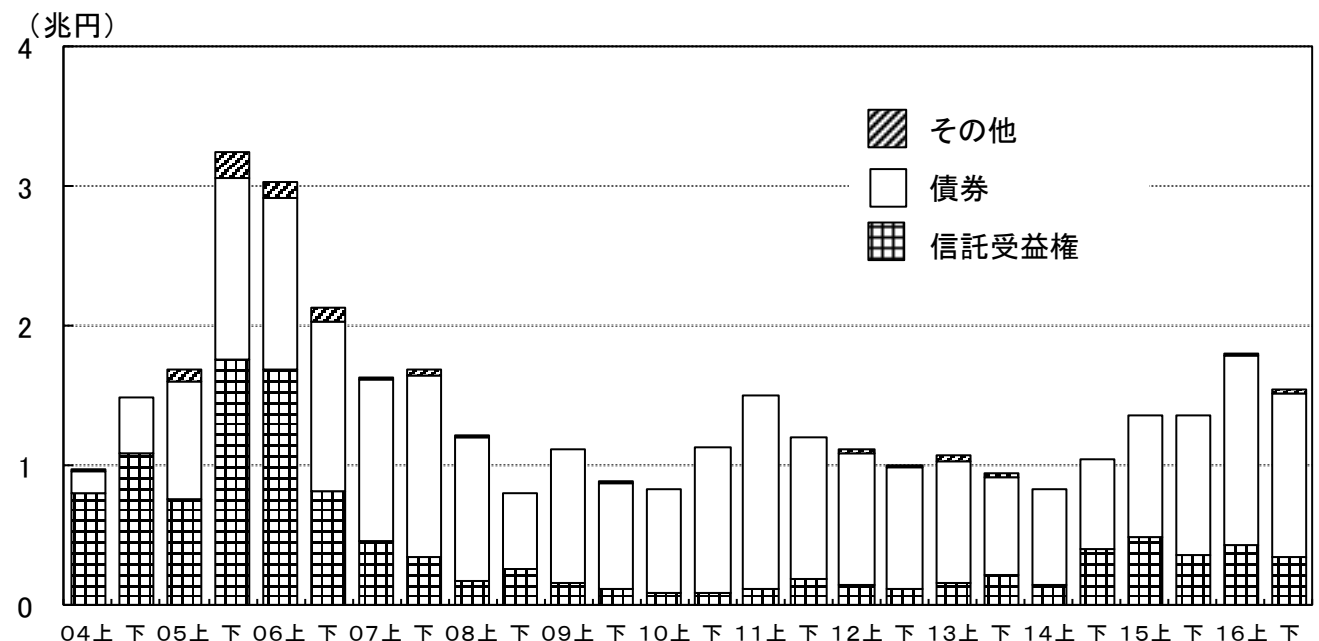
（図表7）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



### ② RMBSの発行形式別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,423億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆1,778億円（構成比76.4%）と最も多く、次いで「信託受益権」が3,400億円（同22.0%）であった（図表8）。

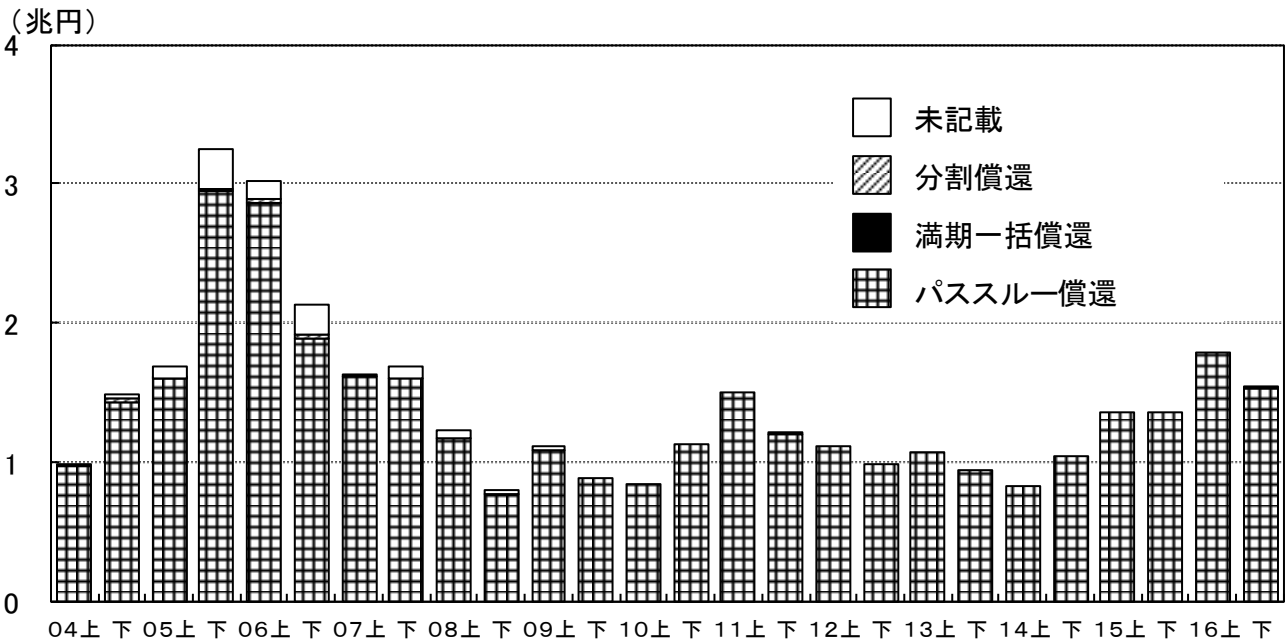
（図表8）RMBSの「発行形式」別発行金額



### ③ RMBSの償還方法別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,423億円）の「償還方法」別内訳をみると、未記載を除く全てが「パススルー償還」となっており、1兆5,352億円（構成比99.5%）であった（図表9）。

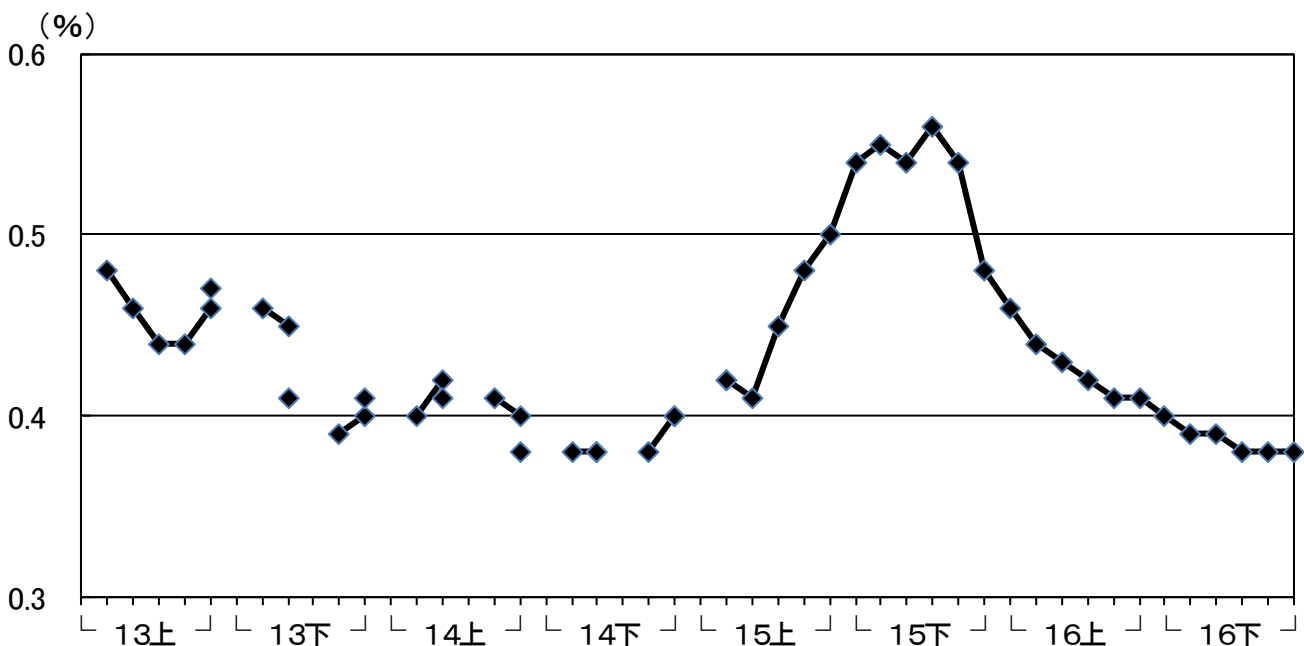
（図表9）RMBSの「償還方法」別発行金額



### ④ 住宅金融支援機構MBSのローンチスプレッド

住宅金融支援機構MBSのうち貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の新発10年国債利回りとの差）は、10月発行分から1月発行分にかけて縮小した後、横ばいで推移した（図表10）。

（図表10）貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド推移



以上